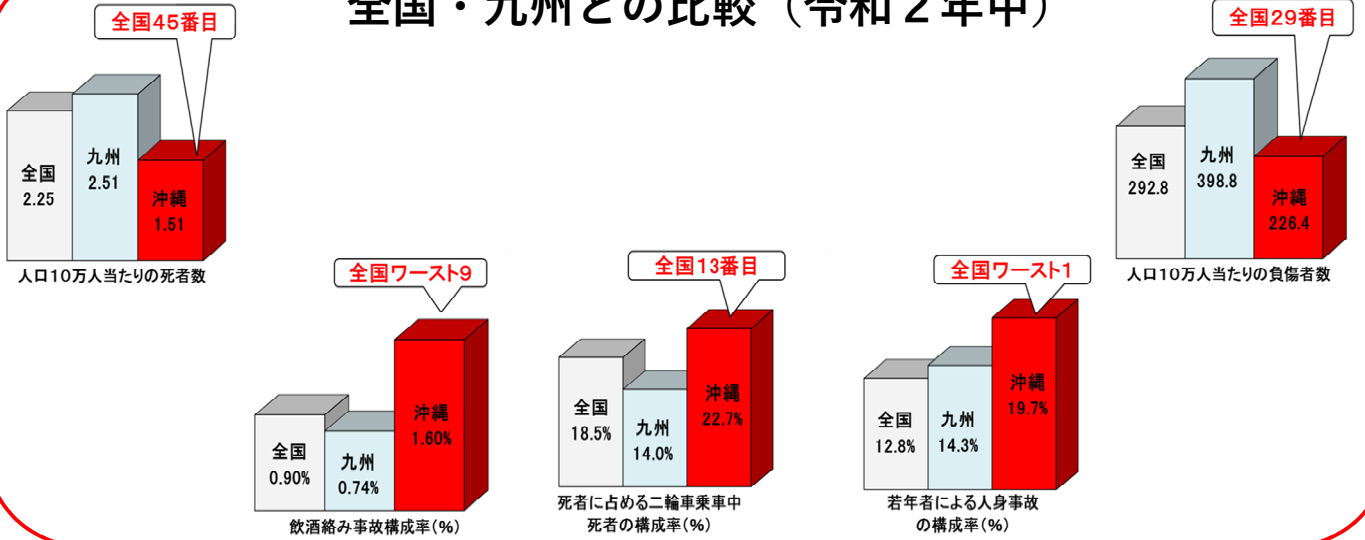


# 【令和2年版】交通白書ダイジェスト・トピック

## 全国・九州との比較（令和2年中）



### 県内の交通事故の特徴

- 交通事故に占める飲酒絡み事故の構成率が高く、全国ワースト9
- 死者に占める二輪車乗車中死者の構成率が高く、全国13番目  
(負傷者に占める二輪車乗車中の負傷者の構成率は全国4番目)
- 若年者(16歳~24歳)が原因となった人身事故の構成率が高い(全国ワースト1)
- 全事故の59.0%が交差点において発生(全国平均56.1%より高い)

### 令和2年:人身事故統計

	令和2年	令和元年	増減数・増減率
発生件数	2,808	4,075	-1,267 -31.1%
死亡	22	35	-13 -37.1%
重傷	365	468	-103 -22.0%
軽傷	2,421	3,572	-1,151 -32.2%
死傷者数	3,312	4,897	-1,585 -32.4%
死者数	22	36	-14 -38.9%
重傷者数	379	488	-109 -22.3%
軽傷者数	2,911	4,373	-1,462 -33.4%
飲酒絡み人身事故	45	93	-48 -51.6%
構成率	1.60%	2.28%	

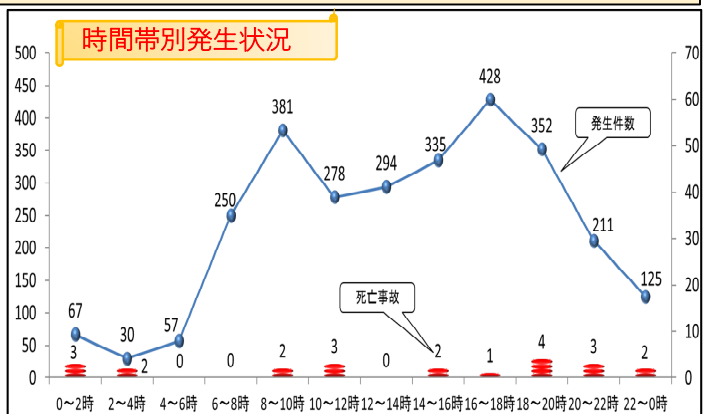
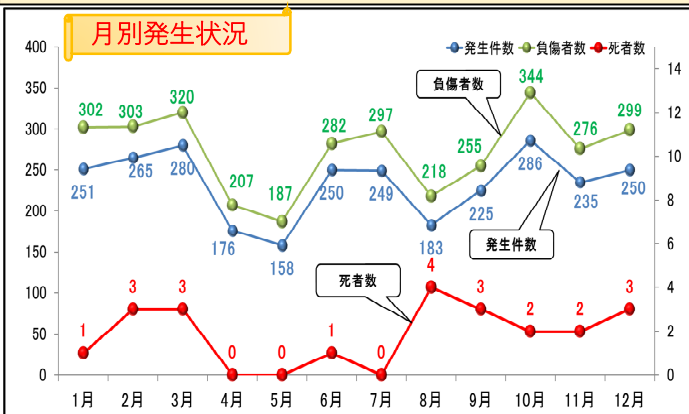
### 令和2年:交通違反検挙統計

※違反は令和2年中に多かつた検挙

	令和2年	令和元年	増減数・増減率
総検挙件数	53,695	80,213	-26,518 -33.1%
一時不停止違反	15,730	20,346	-4,616 -22.7%
信号無視	8,324	7,393	931 12.6%
通行禁止・通行帯	7,093	13,455	-6,362 -47.3%
携帯電話使用違反	3,935	13,992	-10,057 -71.9%
追越・通行区分	2,637	3,797	-1,160 -30.6%
飲酒運転	1,429	2,147	-718 -33.4%

○ 総検挙数は、道路運送車両法、道路運送法、保管場所法、道路法、放置駐車確認標章貼付件数、教唆、幫助、不申告を含まない。

- 死者数は、統計が残る昭和22年以降、過去最少人数
- 発生件数は、平成元年以来、31年ぶりの2,800件台
- 飲酒絡み事故は、平成2年以降、過去最少件数

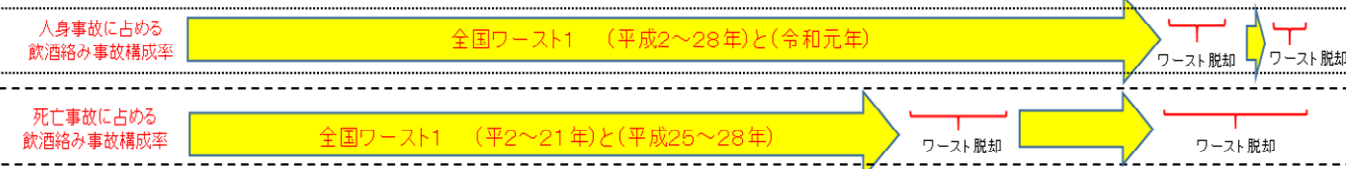
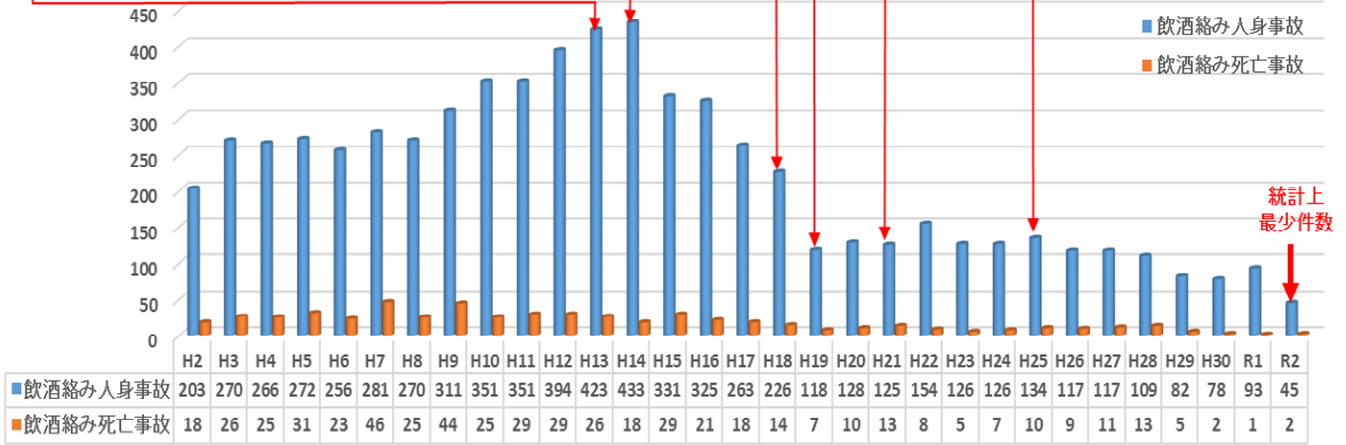


- 人身事故 10月(286件)最多
- 死者数 8月(4人)最多

- 人身事故 16時~20時最多
- 死亡事故 8時~20時最多

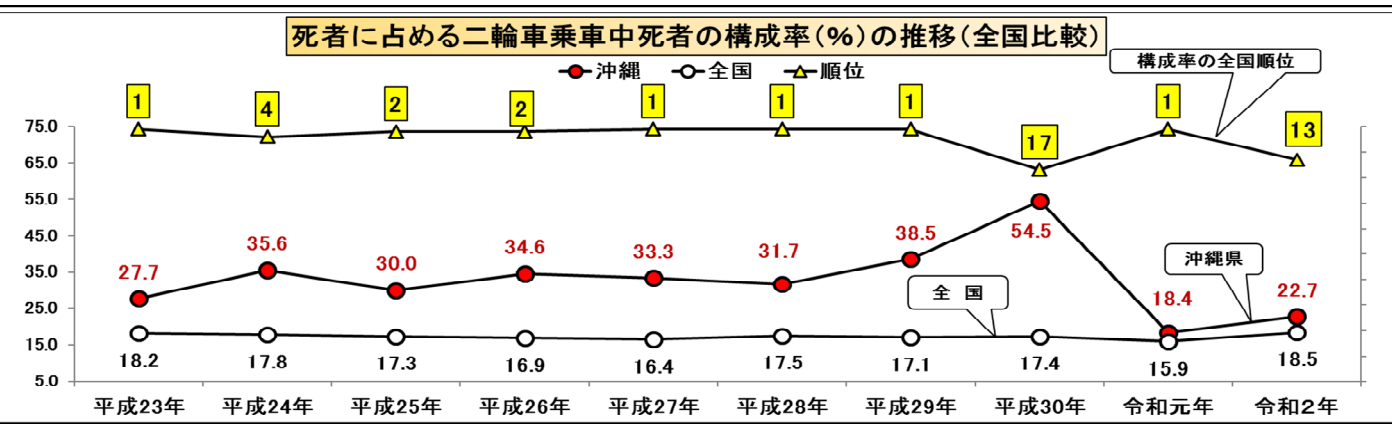
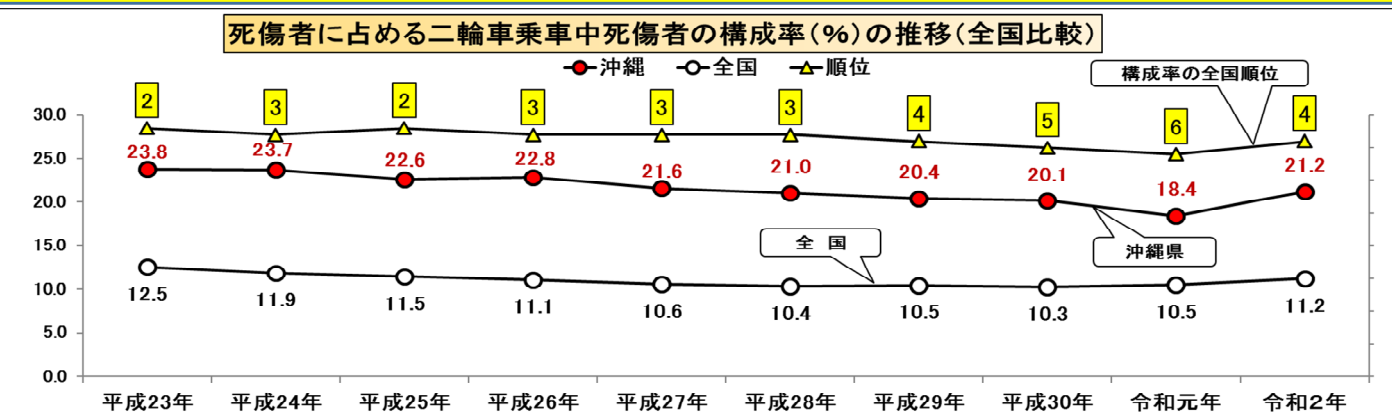
# 飲酒絡み事故の発生推移と罰則強化

H13年11月 危険運転致死傷罪の新設  
 H14年6月 飲酒運転罰則強化 (呼気0.15ミリグラムも検挙対象)  
 H18年8月 福岡県3幼児死亡事故 伊平屋村飲酒死亡事故発生  
 H19年9月 飲酒運転等運転者対策と罰則強化 (酒酔い5年以下100万円以下に)  
 H21年6月 悪質危険運転者対策、欠格期間の延長、酒気帯び基礎点数引き上げ  
 H21年10月 沖縄県飲酒運転根絶条例施行  
 H25年11月 自動車運転致死傷行為処罰法 アルコール等影響発覚免脱罪の新設



- 人身事故に占める飲酒絡み人身事故の構成率 2年振りに全国ワースト脱却 (全国9番目)
- 死亡事故に占める飲酒絡み人身事故の構成率 4年連続で全国ワースト脱却 (全国14番目)

# 二輪車乗車中の死傷者(死者)の推移



- 交通事故死傷者に占める二輪車乗車中の死傷者の構成率 全国平均 (11.2%) の約1.9倍 (全国ワースト4)
- 交通事故死者に占める二輪車乗車中の死者の構成率 全国平均 (18.5%) の約1.2倍高 (全国で13番目)